

厚生労働省和歌山労働局発表
平成 25 年 3 月 29 日（金）

担当	厚生労働省和歌山労働局
	職業安定部職業安定課
	長 木村 孝
	労働市場情報官 石川 正義
電話	073(488)1160

一般職業紹介状況（平成 25 年 2 月分）

有効求人倍率（季節調整値）は、前月より 0.02 ポイント低下の 0.86 倍で、2 か月連続で前月を下回った。

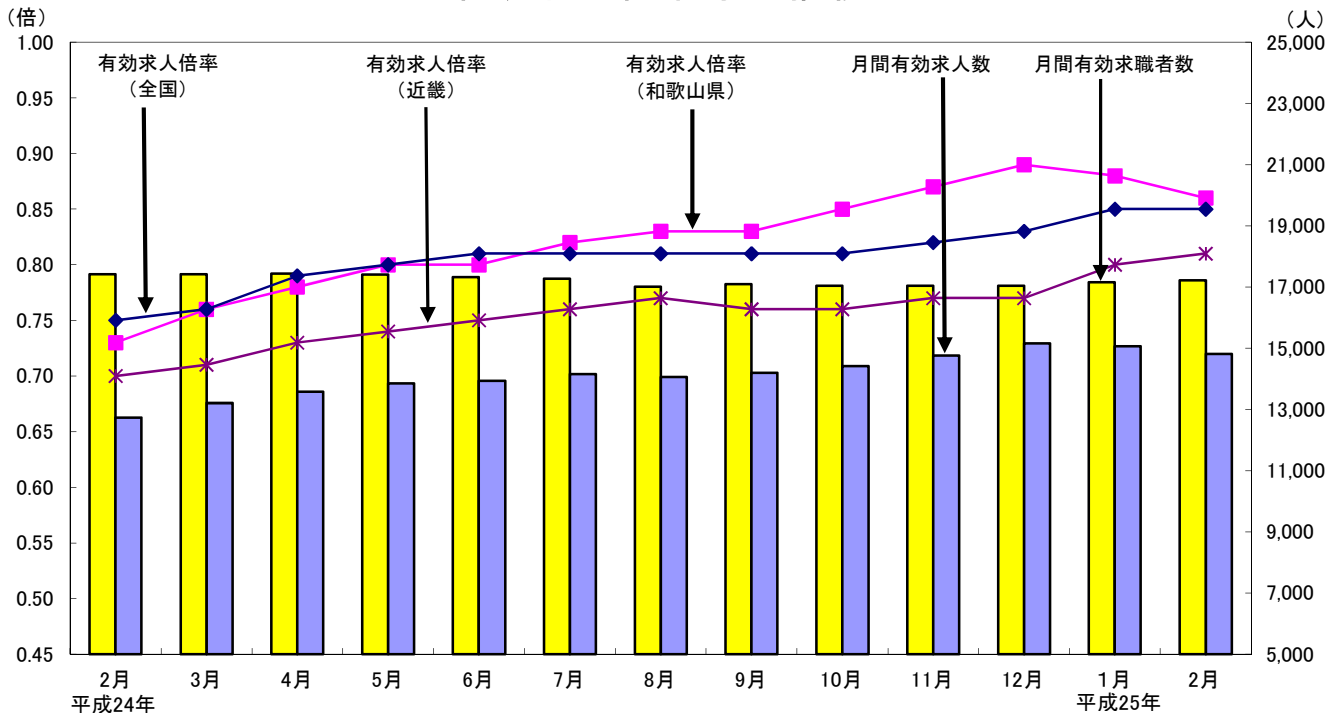
全国の有効求人倍率（季節調整値）は 0.85 倍で、前月と同水準。

近畿の有効求人倍率（季節調整値）は 0.81 倍で、前月より 0.01 ポイント上昇。

新規求人倍率（季節調整値）は 1.32 倍で、前月と同水準。

- ◎ 新規求人数（原数値）は対前年同月比 7.3%増。
- ◎ 新規求職者数（原数値）は対前年同月比 6.7%減。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成24年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率（季節調整値）は前月と同水準の1.32倍となった。

全国の新規求人倍率（季節調整値）は1.35倍で、前月より0.02ポイント上昇。

近畿の新規求人倍率（季節調整値）は1.37倍で、前月より0.08ポイント上昇。

有効求人倍率（季節調整値）は0.86倍となり、前月を0.02ポイント下回った。

正社員有効求人倍率（原数値）は前年同月より0.03ポイント上昇の0.48倍で、32か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

(1) 新規求人数（原数値）は6,108人で、前年同月比7.3%増（8か月連続増）となった。

有効求人数（原数値）は15,137人で、前年同月比14.4%増（11か月連続増）となった。

(2) 主な産業別に新規求人の増減（前年同月差）をみると、

「教育,学習支援業」（150人増）、「情報通信業」（136人増）、「宿泊業,飲食サービス業」（98人増）、「サービス業」（94人増）、「建設業」（81人増）などで増加し、「製造業」（117人減）、「生活関連サービス業,娯楽業」（56人減）などは減少した。

(3) 一般、パート別で新規求人の状況を見ると、一般求人数は3,218人で前年同月比0.6%増、パート求人数は2,890人で前年同月比16.1%増となった。

3 求職者の動き

(1) 新規求職者数（原数値）は4,202人で、前年同月比6.7%減（2か月ぶり減）となった。

有効求職者数（原数値）は16,197人で、前年同月比1.8%減（23か月連続減）となった。

(2) 新規求職者（パートを含む常用）を態様別にみると、在職者は1,163人で前年同月比4.7%増（3か月連続増）、離職者は2,399人で同5.5%減（5か月ぶり減）となり、離職者のうち事業主都合離職は556人で同7.8%減（5か月ぶり減）、自己都合離職は1,684人で同3.8%減（2か月ぶり減）、また、無業者は606人で同24.7%減（15か月連続減）となった。

(3) 雇用保険の受給者実人員は4,110人で、前年同月比1.5%増（7か月ぶり増）となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は1,453人で、前年同月比6.3%減（2か月ぶり減）となった。

5 まとめ

原数値で見ると、前年に比べ、有効求職者は23か月連続で減少し、新規求職者も2か月ぶりに減少となった。また、求人の動向を見ると、新規、有効とも連続して増加しているが、有効求人倍率（季節調整値）は2か月連続で前月を下回った。雇用情勢は持ち直しの動きもみられるが、依然として厳しい状況にある。